エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要												
氏名又は名	治称 株宝	株式会社グローアップ										
代表者名	五	名	古田	日高浩			役職名	代表取締	代表取締役			
主たる事務 の所在地		.51-00	071	東京都沿	渋谷区本町3-	-14-3松月	尾ビル8F					
事業者の区	Z A	条件	例施?	 行規則第	515条第2項に	<u></u> - 該当する	 5小売電気	 気事業者				
争来有いど		その	- の他	の事業者								
主たる事業 概要		沖縄県、離島を除く全国にて製パン・製菓店を対象に、JPEXより電源を調 小売供給を行っています							調達し			
電力供給量(総量)	量	2	21, 404	4				供給量 野県) 446 千kW				
2 計画期	間及び報	生対	兔年	庇								
計画期間	2018			度 ~	2019	年度	報告対	才象年度	2018	年度		
3 公表方?	3 公表方法等											
	ニームペー	-ジ										
「関リ	〕刷物の閲 覧場所・時]覧 間等)										
	その他											

1 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針
温暖化防止に努めるために、電源調達の交渉の際に一定以上CO2の排出量の少ない発電方法を取り 込んでいることを重要事項とする。
5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制
基本方針に対して行動できる社内環境の整備中
比内組織として ・環境整備のために本社にシステムの選任を配置 ・代表・システム担当を含む社内メンバーにて新システムの構築 ・外部有識者を相談役として招き、電源調達先の開拓のプロジェクト化

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

6 1		917	- 1	- の製造等に伴い排出され	る一段口次未りが明に決	11 21 14 14 14
基	準	年	度	実排出係数	0. 000512	t-CO2/kWh
20	018	年度	=	調整後排出係数	0. 000466	t-CO2/kWh
目	標	年	度	目標排出係数	0. 000512	t-CO2/kWh
20	019	年度		目標削減率	0. 000466	%
	目標認関する	没定に 5説明		100%市場調達のため不明		
	第一	年度		実排出係数	0. 000512	t-CO2/kWh
		1 /X		調整後排出係数	0. 000466	t-CO2/kWh
20	018	年度	‡ [エネルギーの製造等に 伴い排出されたCO2量		千t-C02
:	排出係 増減	数等の 理由		100%市場調達のため変更	.7£ C	
	隺一	年度		実排出係数		t-CO2/kWh
		T/X		調整後排出係数		t-CO2/kWh
		年度	.	エネルギーの製造等に 伴い排出されたCO2量		千t-C02
-	排出係 増減					
	第三	— <u>—</u> 年度		実排出係数		t-CO2/kWh
	<i>™</i> —	一个区		調整後排出係数		t-CO2/kWh
		年度	÷	エネルギーの製造等に 伴い排出されたCO2量		千t-C02
	排出係 増減					

7 上記6の目標を達成するための措置

目標を達成するために以下を予定しております。

・社内整備のためにシステム開発を行い、業務の効率化を行い。本件に割けるリソースを作り出す

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		2 1 2 10 11 11 17 9 4 1	- 20		記迪しと美績 調達する電気	の電	源構	i成の割合(W・h 比)		
基準年度		石炭火力	0	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0	%
		LNG火力	0	%	水力	0	%	卸電力取引所※3	100	%
2018	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	0	%	その他(0	%
最終にお		石炭火力	0	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0	%
見通		LNG火力	0	%	水力	0	%	卸電力取引所 ^{※3}	100	%
2019	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	0	%	その他(%
第一	午 庇	石炭火力	0	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0	%
7/7	十反	LNG火力	0	%	水力	0	%	卸電力取引所※3	100	%
2018	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	0	%	その他(0	%
第二年度		石炭火力	0	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0	%
		LNG火力	0	%	水力	0	%	卸電力取引所※3	100	%
	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	0	%	その他(0	%
第二	午 庇	石炭火力	0	%	原子力	0	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0	%
第三年度		LNG火力	0	%	水力	0	%	卸電力取引所※3	100	%
	年度	石油火力	0	%	FIT電気 ^{※2}	0	%	その他(0	%
備										

^{※1 「}最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

^{※2 「}FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

^{※3 「}卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた 卸電力取引所を指す。

基準年度 23, 250 千kWh 484 千kWh ボカ	9の1 冉	生可能エネル	ノギー源	により発電さ	れた電		関する見通し			
E			調達	 全量		再生	可能エネルギ			
県内分 電源 T k Wh	区分		H/-J X							
基準年度 23,250	E27			県内名	}	電源	電気(FIT電気を除		FIT電気	
基準年度						太陽光		千kWh		千kWh
23, 250 千kWh 484 千kWh ボル ボル 千kWh ボル ボル ボル ボル ボル ボル ボル ボ	甘淮左南					風力		千kWh		千kWh
2018 年度	基华 年度	02 050	-1. ₩1.	404	- 1.₩1.	水力		千kWh		千kWh
大阪		23, 230	KWII	404	KWII	バイオマス		千kWh		千kWh
最終年度 における 見通し 27,900 千kWh 580 千kWh	2018 年度							千kWh		千kWh
Table Ta						太陽光		千kWh		千kWh
見通し 27,900 千kWh 580 千kWh 水力 千kWh 千kWh 2019 年度 23,250 千kWh 484 千kWh 太陽光 千kWh 千kWh 2018 年度 千kWh 大kWh 水力 千kWh 千kWh 第二年度 千kWh 千kWh 大kWh 大kWh 千kWh 2019 年度 千kWh 大kWh 千kWh 大kWh 千kWh 第三年度 千kWh 千kWh 大kWh 千kWh 大kWh 千kWh 大kWh 千kWh 千kWh 大kWh 千kWh 千kW	最終年度					風力		千kWh		千kWh
2019 年度		27 000	-1. ₩1.	ESO	- 1.₩1.	水力		千kWh		千kWh
第一年度 23, 250	70,25	21, 900	KWII	900	KWII	バイオマス		千kWh		千kWh
第一年度 23,250 千kWh 484 千kWh ボカ 千kWh 三なり 千kWh 三なり 千kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 二なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 二なり 一大kWh 三なり 一なり 一大kWh 三なり 一本なり	2019 年度							千kWh		千kWh
第一年度 23,250 千kWh 484 千kWh ボカ 千kWh 三なり 千kWh 三なり 千kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 二なり 一大kWh 三なり 一大kWh 三なり 二なり 一大kWh 三なり 一なり 一大kWh 三なり 一本なり						太陽光		千kWh		千kWh
第一年度 23,250 千kWh 484 千kWh 木力 千kWh 三 2018 年度 千kWh 大陽光 千kWh 三 第二年度 千kWh 大陽光 千kWh 三 2019 年度 大kWh 大kWh 三 第三年度 千kWh 大陽光 千kWh 三 年度 千kWh 大陽光 千kWh 三 年度 千kWh 二 千kWh 三 年度 千kWh 三 千kWh 三	* + -									千kWh
23,250	第一年度	00.050	-T1 m	40.4	千kWh	水力				千kWh
2018 年度 (その他) 千kWh 一 第二年度 千kWh 太陽光 千kWh 三 2019 年度 大kWh 水力 千kWh 三 第三年度 千kWh 大kWh 三 年度 千kWh 大kWh 三 年度 千kWh 三 一 本力 千kWh 三 本力 千kWh 三 その他 千kWh 三 その他 千kWh 三 その他 千kWh 三		23, 250	千kWh	484						千kWh
第二年度 千kWh 無力 千kWh : 2019 年度 その他 千kWh : 第三年度 千kWh 無力 千kWh : 年度 千kWh 無力 千kWh : 本力 千kWh : ※力 千kWh : 本方 千kWh : その他 千kWh : その他 千kWh : その他 千kWh :	2018 年度	_				その他				千kWh
第二年度 千kWh 無力 千kWh : 2019 年度 大kWh : その他 : 第三年度 大kWh 無力 千kWh : 年度 千kWh 無力 千kWh : 本力 千kWh : ※力 千kWh : 本力 千kWh : ※力 千kWh : 本の他 (千kWh : その他 千kWh :						太陽光		千kWh		千kWh
第二年度 千kWh 千kWh ボカ 千kWh 三 2019 年度 その他 (6060 - 1- 1-					風力				千kWh
TRWN	第一年度		T1 W1		T1 ""	水力		千kWh		千kWh
2019 年度 (その他) 千kWh 第三年度 手kWh 年度 大陽光 千kWh 水力 千kWh バイオマス 千kWh その他 千kWh			††kWh		⊤kWh	バイオマス				千kWh
第三年度 - 千kWh - 千kWh - ボカ - 千kWh - ボカ - 千kWh - ボカ - ボイオマス - 千kWh - ボイオマス - 千kWh - ボイオマス - 千kWh - ボイオマス - 千kWh - ボール - 千kWh - ボール - ボ	2019 年度									千kWh
第三年度 - 千kWh - 千kWh - ボカ - 千kWh - ボカ - 千kWh - ボカ - 千kWh - ボカ - ボイオマス - 千kWh - ボイオマス - 千kWh - ボイオマス - 千kWh - ボール - 千kWh - ボール - 千kWh - ボール						太陽光		千kWh		千kWh
第三年度 千kWh 水力 手kWh 三 年度 木力 千kWh 三 年度 その他 千kWh 三	646 L-							千kWh		千kWh
年度	第二年度		-T1 w		T1 W			千kWh		千kWh
年度 (その他 (その他) 手kWh			† ⊤ĸwn		† ⊤ĸwn					千kWh
十文 (() KWII	左声									
備考	牛皮					()		⊤kWh		千kWh
	備考									

そ

 \mathcal{O}

他

9の2 再生可能エネバ	レギーの普及・供給拡大に関する取組
2021年度から太陽光発電	電と蓄電池のセット販売を既存顧客に開始を予定しています。
10 エネルギーの供給	合に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組
特に予定はございません	
11 需要家の省エネ/	レギー対策の推進に関する取組
区分	実施内容
高効率機器の 普及促進	顧客の店舗へ訪問を行い、現状のヒアリングや調査を行い高効率機 器の導入サポートを行う。
家庭・事業者の一 対策 への協力	事業者へ向け、コスト削減とともに行うことのできる省エネ商材の 開発、交渉を開始する。

[※] 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基実	準施	年 度	ま ま	で内	に容	特になし
第		年	度	実	績	特になし
第		年	度	実	績	
第	三	年	度	実	績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

		区			,	度化対象に関する取組の実施状況 実施内容
基実	準施			で対	に策	特になし
第	_	年	度	実	績	特になし
第		年	度	実	績	
第	三	年	度	実	績	

13	自由記載欄